電子透かしの必要性

- 画像通信の利用が広がるにつれて、データ通信のセキュリティと同じように画像情報の秘匿や著作権保護といった画像通信におけるセキュリティについても検討することが必要となる。
- 従来提案されている方法では、透かし情報を検査するエンティティに対して透かしが公開されてしまうため、偽造の可能性がある。
- 著作権保護のためには、効率的がよく安全なディジタル署名や、コンシールドイメージ（透かし情報の埋め込み）が不可欠である。
- ディジタル画像はコピーが容易に行える
- 現在は著作者の情報が含まれていない
- 暗号化では画像の自由な流通を妨げる恐れがある